

子宮頸がんについて知ろう

■ウイルス感染でおこる子宮頸がん

子宮頸がんは、HPV（ヒトパピローマウイルス）の感染が原因と考えられています。このウイルスは、女性の多くが“一生に一度は感染する”といわれるウイルスです*。

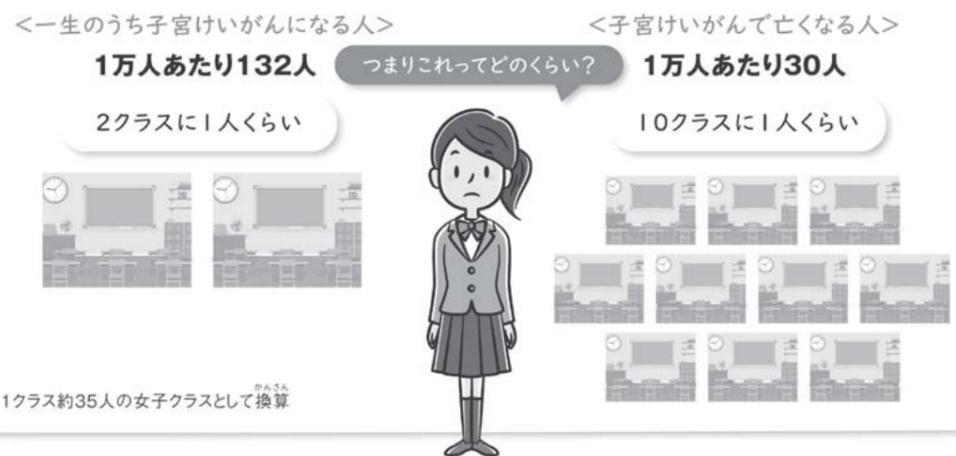
感染しても、ほとんどの人は自然に消えますが、一部の人で“がん”になってしまうことがあります。

現在、感染した後にどのような人が“がん”になるのかわかっていないため、感染を防ぐことが“がん”にならないための手段です。

※ HPV は一度でも性的接触の経験があれば、誰でも感染する可能性があります。

■何人くらいが子宮けいがんになるの？

日本では毎年、約 1.1 万人の女性が子宮頸がんになり、毎年、約 2,800 人の女性が亡くなっています。患者さんは 20 歳代から増え始めて、30 歳代までに“がん”の治療で子宮を失ってしまう（妊娠できなくなってしまう）人も、毎年、約 1,200 人います。



出典 国立がん研究センター がん情報サービス 2015年全国推計値に基づく累積罹患リスク、2017年累積死亡リスクより

■子宮頸がんて苦しまないためにできること

◎子宮頸がん検診を受けましょう

20 歳になったら、子宮頸がんを早期発見するため、子宮頸がん検診を定期的に受けることが重要です。山都町では、集団健診で子宮頸がん検診を受けることができます。自己負担は 500 円（75 歳以上は 300 円）です。ぜひ、来年度の子宮頸がん検診をうけましょう！

（山都町における令和 2 年子宮頸がん受診者数：1,660 人）

◎HPVワクチン接種について

HPV ワクチンは、平成 25 年 4 月 1 日から定期接種となりましたが、その後ワクチンとの関係が否定できない持続的な疼痛がワクチン接種後に確認されたため、現在、町では、定期接種を積極的には、お勧めしていません。

しかし、対象年齢のうちに接種を希望される方は、定期接種（無料）を受けることは可能です。その際は、予防接種の有効性とリスクを十分ご理解していただく必要がありますので、役場健康ほけん課に、お問い合わせください。なお、子宮頸がん予防ワクチンについての情報は、厚生労働省ホームページや町ホームページにも掲載しています。

問合せ先 健康ほけん課健康づくり係 ☎ 72-1295
清和支所 健康福祉係 ☎ 82-2900 蘇陽支所 健康福祉係 ☎ 83-1112

私たちも、認知症サポーター！

高齢者支援係より

11月6日矢部小学校6年生46名が、認知症サポーター養成講座を受講しました。認知症とはなにか？認知症の人に対する声かけの仕方、オレンジリングの意味について学びました。「前の方からやさしく声をかけてあげたい」「相談相手になれるようオレンジリングを身につけたい」といった心強い感想を話してくれました。今後もオレンジリングが町にあふれ、認知症の方やその家族の応援者に優しい地域づくりに取組みます。



オレンジリングは、認知症サポーター養成講座を受講した人が身につけるリングです。認知症に対する理解をしている証と、認知症やその家族の人が安心して助けを求めることができる目印になっています。

2021年度保育所等新規入所申込みについて

福祉係より

2021年度の認可保育所等の新規利用申込について、一斉受付の期間を設けて対応しています。山都町への転入前のお子様についても受付が可能です。

また、申込書提出の際には、世帯員全員の個人番号を記載していただくとともに、保護者氏名欄に記入している方の身分証明書と個人番号がわかる書類を持参してください。

詳しくは、町ホームページに掲載しております、「2021年度支給認定申請・保育所等利用申込ガイド」及び「マイナンバーのお知らせ」をご覧ください。

なお、一斉受付期間終了後も、随時入所申込は受け付けますが、期間中に申請された方から優先的に入所の調整を行います。

- ◎受付期間 令和3年1月8日から令和3年1月22日
(土・日、祝日は除く) 午前8時30分から午後5時まで
- ◎受付場所 山都町役場 福祉課、各支所 健康福祉係
- ◎提出書類 ①施設型給付費・地域型保育給付費等支給認定申請書兼保育所等利用（継続利用）申込書
②承諾（誓約）書 ③食物アレルギー調査票
④保育の必要性を証明する書類（就労証明書、家庭状況証明書等）

※申込書類については、役場福祉課、各支所健康福祉係に取りに来られるか、町ホームページよりダウンロードしてください。

問合せ先 福祉課 ☎ 72-1229 清和支所 健康福祉係 ☎ 82-2112
蘇陽支所 健康福祉係 ☎ 83-1112